

拡張PVPで利用できる機能

△はコマンド対応です。▲は条件付き対応です。

カテゴリ	タイトル2	コマンド	メニューにないコマンド	内容	拡張PVP	PVP
スタート	システム環境設定	SysEnv		システム環境設定を開きます。	○	○
	プリンター設定の登録	PrinterRegist		プリンター設定を登録します。	△	△
	ヘルプ	Help		ヘルプファイルを開きます。	○	○
	バージョン情報および利用規約	About		バージョン情報を開きます。	○	○
	終了	Exit		アプリケーションを終了します。	○	○
ワークスペース	プロジェクトワークスペース	ProjectWorkspace		プロジェクトワークスペースの表示切り替えを行います。	○	○
	インデックスマップ	IndexMap		インデックスマップの表示切り替えを行います。	○	○
	前景レイヤー			前景レイヤーに切り替えます。	○	○
	ズームバー	ZoomBar		ズームバーの表示切り替えを行います。	○	○
	ジオコーディング	PGCWnd		インテリジェントジオコーディングウィンドウを表示します。	△	×
	クイックバー	QuickBar/QuickBar1		クイックバーの表示切り替えを行います。	○	○
	アウトプットバー	OutputBar		アウトプットバーの表示切り替えを行います。	△	△
	ステータスバー	Statusbar		ステータスバーの表示切り替えを行います。	○	○
	タスクバー	TaskBar		タスクバーの表示切り替えを行います。	○	×
	新しいウィンドウ	NewWindow		新しいウィンドウを開きます。	○	○
	ウィンドウ分割	SplitWindow		ウィンドウを分割して表示します。	○	○
	重ねて表示	CascadeWindow		ウィンドウを重ねて表示します。	○	○
	上下に並べて表示	HTiledWindow		ウィンドウを上下に並べて表示します。	○	○
プロジェクト	プロジェクト	Pri		プロジェクトエキスパートを開きます。	○	○
	レイヤー	Layer		レイヤーエキスパートを開きます。	○	○
	表示モード	DispMode		表示モードを開きます。	○	○
	前の表示モード	DispModePrev		前の表示モードに切り替えます。	○	○
	後の表示モード	DispModeNext		後の表示モードに切り替えます。	○	○
	領域連動	AreaSlave		アクティブなプロジェクトに追従して、プロジェクトを連動表示します。 領域連動が設定されたプロジェクト (*.pdm) が同じフォルダー内にある場合に復元され、領域連動表示が行われます。このメニュー自体は実行できません。	▲	×
	地理院地図	CJBKMap1		地理院地図を標準で表示します。	○	○
	淡色	CJBKMap2		地理院地図を単色で表示します。	○	○
	白地図	CJBKMap3		地理院地図を白地図で表示します。	○	○
	写真	CJBKMap4		地理院地図の航空写真を表示します。	○	○
表示なし	CJBKMap0		地理院地図を表示しません。	○	○	
表示設定	DispModeCJBK		地理院地図の表示設定を行います。	△	△	
通常表示	CJBKMapMono0		地理院地図を通常モードで表示します。	△	△	
コントラスト低減なし	CJBKMapMono1		地理院地図をコントラスト低減なしで表示します。	△	△	
コントラスト低減弱	CJBKMapMono2		地理院地図をコントラスト低減弱で表示します。	△	△	
コントラスト低減中	CJBKMapMono3		地理院地図をコントラスト低減中で表示します。	△	△	
コントラスト低減強	CJBKMapMono4		地理院地図をコントラスト低減強で表示します。	△	△	
キャッシュクリア	CJBKMapClear		地理院地図のキャッシュをクリアします。	△	△	
背景表示設定	RasterTileUrl		地理院タイルと同様の形式で格納された画像ファイル群を、ズームレベルに応じて背景表示します。	△	△	
画面表示	全体表示	Fit		データ全域を表示します。	○	○
	拡大	ZoomIn		表示領域を拡大して表示します。	○	○
	縮小	ZoomOut		表示領域を縮小して表示します。	○	○
	センタリング	ZoomCenter		指定した位置を中心として表示します。	○	○
	移動	ZoomMove		マウスドラッグに合わせて表示領域を移動します。	○	○
	縮尺設定	ZoomScale		表示領域の縮尺設定を行います。	○	○
	座標で表示中心設定	ZoomPos		表示中心位置を座標指定で設定します。	△	△
	メッシュコード、DM図業コード等領域	ZoomCode		表示領域をメッシュコード、DM図業コードで指定します。	△	△
	回転表示	ViewRot		編集プロジェクトの中心を固定し、指定した角度で回転をかけて表示します。	○	○
	中心・角度指定	ZoomRot		中心と角度を地図上で指定し、回転をかけて表示します。	△	△
	再描画	Repaint		ウィンドウの再描画を行います。	○	○
	前の領域	ViewBack		現在の表示領域の1段階前の領域に表示を戻します。	○	○
	後の領域	ViewForward		[前の表示領域] コマンドで戻された表示領域を、履歴の中で1つ先に進めます。	○	○
	エラー箇所	ViewError		エラー強調フラグが表示された箇所を巡回表示します。	○	○
	選択ベクター	ViewMark		選択されたベクター要素を巡回表示します。	○	○
	次の箇所	ViewNext		次の巡回箇所を表示します。	○	○
	前の箇所	ViewPrev		前の巡回箇所を表示します。	○	○
	前景レイヤー領域	ViewDispLayer		前景レイヤーのベクター要素が全て表示されるように、ベクターウィンドウ上の画面縮尺を変更します。	○	○
	全レイヤーデータ領域	ViewDispLayerAll		全レイヤーのベクター要素が全て表示されるように、ベクターウィンドウ上の画面縮尺を変更します。	○	○
	選択データ領域	ViewDispSel		選択されているベクター要素が全て表示されるように、ベクターウィンドウ上の画面縮尺を変更します。	○	○
	全レイヤー選択データ領域	ViewDispSelAll		全レイヤーのベクター要素が全て表示されるように、ベクターウィンドウ上の画面縮尺を変更します。	○	○
	3Dビュー	3DView		アクティブなプロジェクトから新規に専用ウィンドウを開き、3D表示します。	○	×
	ブックマーク	BookMark		記録済みの指定の表示領域を、必要に応じて呼び出し、その領域、表示モードを復元します。	○	○
独自表示	ViewDispMode		このビューで使用する表示モードを、[プロジェクトエキスパート] - [表示モード] パネルに登録されたモード名で指定します。	△	△	
ビュー番号	ViewDisplInfo		ビュー番号と名称を数秒間画面に表示します。	△	△	
スクロールバー	Scrollbar		スクロールバーの表示または非表示を切り替えます。	○	○	
スケールバー	Scalebar		スケールバーの表示または非表示を切り替えます。	○	○	
コンパスバー	Compass		コンパスバーの表示または非表示を切り替えます。	○	○	

カテゴリ	タイトル2	コマンド	メニューに ない コマンド	内容	拡張PVP	PVP
	ルーベ表示	Lupe		ルーベで拡大するように、画面の一部を拡大表示します。	○	○
	ルーベウィンドウ	LupeWnd		ルーベウィンドウ上で、マウスの位置を拡大表示します。	○	○
印刷	印刷実行	PrintGo		印刷設定に従い出力を開始します。	△	△
	プレビュー	PreviewImage		拡張イメージウィンドウを使って印刷プレビューを行います。	△	△
	クイック印刷	PrintQuick		地図の領域、印刷する紙のサイズ、印刷縮尺のパラメータを組み合わせて、Windowsプリンターへの簡易出力設定を行います。	○	○
シェイプ	線と面	QShapeVec		クイックシェイプ（線と面）を作成します。	○	×
	注記	QShapeText		クイックシェイプ（注記）を作成します。	○	×
	規定シンボル	QShapeSym		クイックシェイプ（規定シンボル）を作成します。	△	×
	シンボルパターン	QShapePat		クイックシェイプ（登録シンボル）を作成します。	○	×
	位置情報付JPEG	QShapeFromJpeg		GPS情報付きJPEGファイルから表示専用の要素、クイックシェイプ（規定シンボル）を作成します。	△	×
	修正	QShapeOp		作成済みのクイックシェイプの修正を行います。	○	×
	一括削除	QShapeDel		クイックシェイプを一括で削除します。	○	×
	インポート	QShapeImport		クイックシェイプを読み込みます。	○	×
	エクスポート	QShapeExport		クイックシェイプを保存します。	○	×
	巡回	ViewQShape		クイックシェイプの巡回表示を開始します。	○	△
	巡回アニメーション	QshapeRound		クイックシェイプの巡回アニメーションを実行します。	○	△
	次の箇所	ViewQShapeNext		次のクイックシェイプ巡回箇所を表示します。	○	△
	前の箇所	ViewQShapePrev		前のクイックシェイプ巡回箇所を表示します。	○	△
	巡回	ViewEShape		Eシェイプの巡回表示を開始します。	△	△
	アニメーション	EShapeRound		Eシェイプの巡回アニメーションを実行します。	△	△
	次の箇所	ViewEShapeNext		次のEシェイプ巡回箇所を表示します。	△	△
	前の箇所	ViewEShapePrev		前のEシェイプ巡回箇所を表示します。	△	△
編集	表示画面コピー（領域指定）	ZoomCopy		指定矩形領域のハードコピーをクリップボードにコピーします。	△	△
	表示画面を印刷・画像データとして保存（領域指定）	ZoomCopy2		指定矩形領域のハードコピーをファイルに保存または印刷します。	△	△
	背景ピクチャー	MovePicture		画面上で、背景ピクチャーの表示位置やサイズを変更します。	△	△
	クリップボードからイメージ	PasteImg		クリップボードへ送られているイメージを背景ピクチャーとして貼り付けます。	△	×
	クリップボードからメタファイル	PasteMeta		クリップボードへ送られているメタファイルを背景ピクチャーとして貼り付けます。	△	×
	ファイルからイメージ	InsertImage		イメージファイルを背景ピクチャーとして貼り付けます。	△	×
	ファイルからメタファイル	InsertMeta		メタファイルを背景ピクチャーとして貼り付けます。	△	×
選択	アーク	SelArc		アークを個別に選択します。	○	○
	ノード	SelNode		ノードを個別に選択します。	○	○
	ポリゴン	SelPol		ポリゴンを個別に選択します。	○	○
	ポイント	SelPt		ポイントを個別に選択します。	○	○
	マルチ	SelMulti		複数のベクター要素を対象として、指定位置に近い要素のうち、ポイント・ノード・アーク・ポリゴンの順に検索して先につかえたものを選択します。	○	○
	ポリゴンからアーク共有ポリゴン	SelPolToPol1		選択されているポリゴンから、そのポリゴンに隣接するポリゴン（アーク共有）を選択します。	○	○
	ポリゴンからノード共有ポリゴン	SelPolToPol2		既に選択されているポリゴンから、そのポリゴンに隣接するポリゴン（ノード共有）を選択します。	○	○
	ポリゴンから構成アーク	SelPolToArc		既に選択されているポリゴンから構成するアークを選択します。	○	○
	アークから構成ポリゴン	SelArcToPol		選択されているアークから構成されているポリゴンを選択します。	○	○
	アークから交差するアーク	SelArcToArc		選択されているアークに交差するアークを選択します。	○	○
	アーク路線	SelArcNet		始点ノードを指定し、その間を最短経路で結ぶアークを選択状態にします。	△	△
	所属ユニオン要素	SelUnion		ユニオンに所属している要素が選択されている場合、そのユニオンの要素全てを選択状態にします。	○	○
	左右ポリゴン属性同一アーク	SelArcLR		隣接するポリゴンの内部属性フィールドの値が同一の場合、隣接するポリゴンが共有しているアークを選択します。	○	○
	領域検索	SelArea		ベクターデータの領域検索をして、該当する要素を選択状態にします。	○	○
	特殊選択	SelEx		選択条件に合ったベクターデータを選択します。	○	○
	バッファー選択	SelBuffer		選択要素から仮想バッファーを生成し、バッファーが包含（部分包含）する要素を選択状態にします。	○	○
	アーク属性選択	SelAttrArc		内部属性フィールドの値を検索項目として、編集レイヤーのアークに該当するものを選択します。	○	○
	ノード属性選択	SelAttrNode		内部属性フィールドの値を検索項目として、編集レイヤーのノードに該当するものを選択します。	○	○
	ポリゴン属性選択	SelAttrPol		内部属性フィールドの値を検索項目として、編集レイヤーのポリゴンに該当するものを選択します。	○	○
	ポイント属性選択	SelAttrPt		内部属性フィールドの値を検索項目として、編集レイヤーのポイントに該当するものを選択します。	○	○
	固有属性選択	SelInherent		アーク・ノード・ポリゴン・ポイントの、各ベクター要素の持つ固有属性を抽出条件として、選択を行います。	○	○
	アーク全選択	SelArcAll		前景レイヤーの全てのアークを選択します。	○	○
	ノード全選択	SelNodeAll		前景レイヤーの全てのノードを選択します。	○	○
	ポリゴン全選択	SelPolAll		前景レイヤーの全てのポリゴンを選択します。	○	○
	ポイント全選択	SelPtAll		前景レイヤーの全てのポイントを選択します。	○	○
	すべて選択	SelAll		前景レイヤーの全てのベクター要素を選択します。	○	○
	アーク選択解除	UnSelArc		前景レイヤーにある、全てのアークの選択を解除します。	○	○
	ノード選択解除	UnSelNode		前景レイヤーにある、全てのノードの選択を解除します。	○	○
	ポリゴン選択解除	UnSelPol		前景レイヤーにある、全てのポリゴンの選択を解除します。	○	○
	ポイント選択解除	UnSelPt		前景レイヤーにある、全てのポイントの選択を解除します。	○	○
	バッファー選択解除	UnSelBuffer		[選択] - [個別選択] - [バッファー] の実行により表示されるバッファー領域の検索マーク（水色網目領域）をクリアします。	○	○
	すべて選択解除	UnSelAll		前景レイヤーにある、全てのベクター要素の選択を解除します。	○	○
	全レイヤー選択解除	UnSelAllAll		前景レイヤーを含めた、全てのベクター要素の選択を解除します。	○	○
	アーク全選択反転	SelToggleArc		前景レイヤーにある全てのアークに対して、選択と非選択の状態を反転します。	○	○
	ノード全選択反転	SelToggleNode		前景レイヤーにある全てのノードに対して、選択と非選択の状態を反転します。	○	○
	ポリゴン全選択反転	SelTogglePol		前景レイヤーにある全てのポリゴンに対して、選択と非選択の状態を反転します。	○	○
	ポイント全選択反転	SelTogglePt		前景レイヤーにある全てのポイントに対して、選択と非選択の状態を反転します。	○	○
	すべて全選択反転	SelToggleAll		前景レイヤーにある全てのベクター要素に対して、選択と非選択の状態を反転します。	○	○

カテゴリ	タイトル2	コマンド	メニューに ない コマンド	内容	拡張PVP	PVP
	選択状態転記 (レイヤー内)	SelTrans		指定したレイヤー内で、選択状態を他のベクター要素にコピーします。	○	○
	選択状態転記 (レイヤー間)	SelTrans2		指定したレイヤー間で、選択状態を他のベクター要素にコピーします。	○	○
	選択ベクターのみ表示	HideUnSel		選択されたベクター要素のみ表示します。	○	○
	選択ベクター(前景レイヤー)のみ表示	HideUnSelSelf		前景レイヤーのみ、「選択されたベクターのみ表示」となります。	○	○
	選択ベクターのみ表示(非選択レイヤー非表示)	HideUnSelA		[「選択」 - 「表示」 - 「選択ベクター」] に加え、選択要素のないレイヤー (とその要素) も非表示にします。	○	○
	選択ベクターのみ表示の解除	UnHideUnSel		選択されたベクター要素のみ表示された状態を解除します。	○	○
	選択ベクターに旗立て	SelToFlag		全てのレイヤーにおいて「選択」または、「属性照会」されているベクター要素に旗マークを表示します。	○	○
	選択情報	SelInfo		現在アクティブなレイヤーで、選択されているベクター要素数やアークの総延長、ポリゴンの総面積を表示します。	○	○
	選択状態の内部DB自動転記	SelToDb		現在選択されているベクター要素の選択状態を、内部DBに転記します。	△	△
	アーク選択セット追加	SelAddSetArc		前景レイヤーのアーク選択状態を、名称付きセット (集合) に格納します。	△	△
	ノード選択セット追加	SelAddSetNode		前景レイヤーのノード選択状態を、名称付きセット (集合) に格納します。	△	△
	ポリゴン選択セット追加	SelAddSetPol		前景レイヤーのポリゴン選択状態を、名称付きセット (集合) に格納します。	△	△
	ポイント選択セット追加	SelAddSetPnt		前景レイヤーのポイント選択状態を、名称付きセット (集合) に格納します。	△	△
	セット管理	SelSetMgr		前景レイヤーの選択セット (集合) の管理を行います。	△	△
	セット演算	SelSetOp		登録された選択セット (集合) 間で選択状態の演算を行います。	△	△
属性	アーク属性照会	ArcInq		指定したアークの属性情報を照会します。	○	○
	ノード属性照会	NodeInq		指定したノードの属性情報を照会します。	○	○
	ポリゴン属性照会	PolInq		指定したポリゴンの属性情報を照会します。	○	○
	ポイント属性照会	PtInq		指定したポイントの属性情報を照会します。	○	○
	メッシュ属性照会	MeshInq		指定したメッシュの属性情報を照会します。	○	○
	ポリゴンマルチ属性照会	MPollInq		複数レイヤーのポリゴン属性情報を同時に照会します。	○	○
	マルチ要素属性照会	MEImInq		複数レイヤーの複数ベクター属性情報を同時に照会します。	○	○
	属性照会 (自動判定)	AllInq		ベクター要素を区別せずに指定位置に近い要素をポイント・ノード・アーク・ポリゴンの順に検索して先につかまえたものを表示します。	○	○
	アーク属性ウィンドウ	ArcWnd		前景レイヤーのアーク内部属性をデータベースウィンドウで表示します。	○	○
	ノード属性ウィンドウ	NodeWnd		前景レイヤーのノード内部属性をデータベースウィンドウで表示します。	○	○
	ポリゴン属性ウィンドウ	PolWnd		前景レイヤーのポリゴン内部属性をデータベースウィンドウで表示します。	○	○
	ポイント属性ウィンドウ	PtWnd		前景レイヤーのポイント内部属性をデータベースウィンドウで表示します。	○	○
	メッシュ属性ウィンドウ	MeshWnd		前景レイヤーのメッシュ内部属性をデータベースウィンドウで表示します。	○	○
	属性ウィンドウ更新	WndUpdate		ベクター要素の内部属性のデータベースウィンドウを更新します。	○	○
	検索	AttrSrch		ベクター要素の内部属性データによる検索を行います。	○	○
	全データ検索	AttrSrchAll		任意の検索文字列に関して、全てのベクターレイヤーの内部DBをあいまい検索して一致するものをリスト表示し、さらに選択されたリストの位置を画面上に表示します。	○	○
	選択データのリンク先検索	LinkMark		選択されたベクター要素とリンクされているデータベース属性の検索を行います。	○	○
	トリガー再計算	AttrTriggerCalc		「トリガー計算フィールド」が設定された全てのレイヤーの内部属性に対して、再計算を実行します。	△	△
	外部アプリ通知	AttrDDE		属性検索コマンドで検索された (または検索フラグをつけた) ベクターの属性値を、クリップボードと及び内部バッファにコピーし、指定したDDE実行コマンドを外部アプリケーションに対して送信します。	○	○
ツール	距離と面積	RangeOp		ベクターウィンドウ上で、距離や面積、角度を計測します。	○	○
	距離と勾配	RangeDegOp		プロジェクトにTINや標高メッシュが登録されている場合、2点の座標 (Z値含む) と2点間の距離、勾配 (角度、パーセント) を求め、[計測] ウィンドウやクリップボードへ転記します。	○	○
	垂線距離	VlineOp		ベクターウィンドウ上で、任意の座標から垂直に下ろしたアークまでの垂線距離を計測します。	○	○
	プロパティ	RangeOpProp		図上計測の際、表示する項目、表示フォントを設定します。	○	○
	断面図	SliceOp		平面上で指定した軌跡に沿った断面図を作成します。	○	○
	軌跡クリア	SliceOpClear		[「ツール」 - 「図上計測」 - 「断面図・断面図」] の実行により表示される断面線の軌跡 (背景強調線形) をクリアします。	○	○
	選択アークから断面図生成	SliceOpBySelArc		選択状態のアークの軌跡に沿った断面図を作成します。	○	○
	断面図作成プロパティ	SliceOpProp		断面図を作成する際の項目を設定します。	△	△
	表示領域の図郭コード等の算出	ViewAreaCode		現在表示されている領域に該当する2次メッシュコードと、各縮尺のDM図業コードのリストを表示します。	○	○
	表示中心付近を地理院地図で閲覧	CJView4		現在表示されている表示中心付近を地理院地図で閲覧して表示します。	○	○
	表示領域付近をGoogle Earthで閲覧	KMLView		現在表示されている領域をGoogle Earthで表示します。	○	○
	表示領域付近をBing Mapsで閲覧	VEView		現在表示されている領域をBing Mapsで表示します。	○	○
	表示中心付近をGoogle Mapsで閲覧	GMView		現在表示されている表示中心付近をGoogle Mapsで表示します。	○	○
	Google Mapsバーコード	GMBrcode		現在表示されている表示中心付近をGoogle Mapsでバーコード表示します。	○	○
	表示中心付近をストリートビュー (Google Maps) で閲覧	GMView2		現在表示されている表示中心付近をストリートビュー (Google Maps) で表示します。	○	○
	表示中心付近をYahoo!地図で閲覧	YahooView		現在表示されている表示中心付近をYahoo!地図で表示します。	○	○
	表示中心付近をMapFanで閲覧	MapFanView		現在表示されている表示中心付近をMapFanで表示します。	○	○
	領域検索・通知	AreaScan		ベクターデータの領域を指定して検索し、検索結果を内部データベース上のデータで表示します。	○	○
	領域検索・集計	AreaScan2		ベクターデータの領域を指定して検索し、検索結果を内部データベース上のデータで集計します。	△	△
	マーククリア	AreaMarkClear		[「ツール」 - 「領域検索」 - 「領域検索」 - 「領域検索・通知」] の実行により表示される領域検索マーク (水色網目領域) をクリアします。	○	○
	ベクターモーフィング	Morphing		指定した始点レイヤーから終点レイヤー間を補間したレイヤーを生成します。	△	×
	2点間最短経路	NetRange		アーク上の2点を指定して、ネットワーク上での最短経路を調べます。	○	○
	到達位置解析 (距離指定)	ArcNet		アークネットワークを解析し、起点からの指定の到達距離位置を求めます。	△	×
	クイック3D表示	Quick3DView		現在の表示領域をベクターのZ値を元に3D表示します。	○	○
	ブラウザ (WebGL) で3Dビュー	BvView14		標高メッシュが読み込まれたプロジェクトで、現在の表示画面をブラウザ上で3DビューできるようにHTMLファイル出力して、デフォルトのブラウザで表示します。	○	○
	登録された3Dプロジェクト	*		指定した3Dプロジェクトをアクティブにします。	○	○
システム	360度静止画像閲覧	PanoramaView		円筒図法の360度静止画像を指定して開き、視野変更、拡大縮小等の閲覧を行います。	○	×
	360度動画再生	PanoramaVideoPlay		円筒図法の360度動画を指定して開き、再生・視野変更・拡大縮小等の閲覧を行います。	○	×
拡張	スナップショット機能の設定	SnapShot		コピー (PrintScreen) キーによる画面のハードコピーをクリップボードへではなく、直接指定のファイルに連番を付けて保存します。	△	×
データベース	トリガーフィールド再計算	TriggerCalc		「トリガー計算フィールド」が設定されたフィールドに対し、再計算を実行します。	△	△

カテゴリー	タイトル2	コマンド	メニューに ない コマンド	内容	拡張PVP	PVP
	外部DBリンクプロパティ	LinkInfo		外部データベースとリンク設定されているデータベースのリンク情報を表示します。	○	○
	リンクDB更新	LinkRefresh		外部データベースとリンク設定されているデータベースを読み込み直します。	○	○
	カード形式	Cardmode/Listmode		アクティブなデータベースの表示形式（リスト/カード）を切り替えます。	○	○
	空白セル強調	MarkWhite		このチェックがON、更に「属性フィールドの設定」ダイアログボックスで、「空白時強調表示の対象」チェックがONのフィールドに関して、空白となるセルが強調表示されます。	△	△
	表示幅最適化	Bestfit		アクティブデータベースのフィールドの内容が全て表示されるように列幅を自動調整します。	○	○
	検索	RecSearch		アクティブなデータベースのレコード（ページ）をキーを指定して検索します。	○	○
	選択レコードのみ表示	MarkDisp		選択された（水色強調表示）レコードのみを表示するか、全レコードを表示するかの表示形式を切り替えます。	○	○
	全データ検索	RecSearchAll		アクティブなデータベース内で、全てのフィールドにわたってキーを指定して検索します。	△	△
	レコード並び替え	RecSort		アクティブなデータベースのレコード（ページ）を、キーを指定して並び替えます。	○	○
	重複レコード検索	RecSearchDup		アクティブなデータベースウィンドウの指定したフィールドで、重複するレコードを検索します。	○	○
	他DBリストから検索	RecSearchByDb		指定されるDBのフィールドと各レコードデータに一致するレコードを選択します。	△	△
	セット	BookMarkSet		指定レコード（行）を選択状態（マークのセット）にします。	○	○
	次の選択	BookMarkNext		選択されているレコードへ移動します。	○	○
	前の選択	BookMarkPrev		移動する前の選択レコードへ戻ります。	○	○
	反転	BookmarkInv		アクティブなデータベースの全レコードに対して、選択と非選択の状態を反転します。	○	○
	解除	BookmarkClear		選択された（水色強調表示）レコードを元の状態に戻します。	○	○
	ベクター自動転記	SelToVec		選択状態の変更を、ベクターの選択状態へ自動転記します。	△	△
	ランキング	DbRank		アクティブデータベースのフィールドデータのランキング処理を行います。	○	○
	集計・統計処理	DbCalc		指定したフィールドの整数、実数、文字列データをキーとして、特定のフィールドの整数または実数値データの集計を行い、新規NDVIに出力します。	○	○
	クロス集計	DbCalcCross		ロウ側になるフィールド、カラム側になるフィールド、演算するフィールド、集計方法などを指定して集計を行い、新規NDVIに出力します。	△	△
	セルの検索	CellFind		データベースウィンドウで、選択されているセルがあればその位置から、なければ先頭または後部検索を行います。	○	○
	次セルの検索	CellFindNext		データベースウィンドウにおいて、[セルの検索]で1度検索した文字列で、次の（部分）一致セルを検索します。	○	○
	前セルの検索	CellFindPrev		データベースウィンドウにおいて、[セルの検索]で1度検索した文字列で、逆方向の（部分）一致セルを検索します。	○	○
	フィールド検索	FieldFind		データベースウィンドウで選択されているセルのあるフィールドに対して検索を行います。	○	○
	次フィールド検索	FieldFindNext		データベースウィンドウにおいて、[フィールドの検索]で1度検索した文字列で、次の（部分）一致セルを検索します。	○	○
	前フィールド検索	FieldFindPrev		データベースウィンドウにおいて、[フィールドの検索]コマンドで1度検索した文字列を選択されているセルのあるフィールドに対して逆方向に検索を行います。	○	○
	リンク先検索	LinkMark		選択されたデータベースのレコードとリンクされているデータベースの検索を行います。	○	○
	レイアウトビュー起動	LayoutView		カレントレコード（ページ）のレイアウトビューを実行します。	○	○
	リレーション起動	Relation		カレントレコード（ページ）のリレーションを実行します。	○	○
	リンクデータベース呼出	DbCall		現在アクティブなセルにデータベースリンクが設定されている場合、カード形式でリンクデータベースの該当するページを表示します。	○	○
	選択状態をベクターへ転記	MarkToVec		内部属性データベースの選択されたレコード（水色強調表示）からベクターウィンドウ上のベクター要素へ、選択状態を転記します。	○	○
	選択状態をベクターから転記	MarkFromVec		ベクターウィンドウ上の選択されたベクター要素から内部属性データベースへ、選択状態を転記します。	○	○
	選択ベクターデータ検索	DbVSearch		アクティブなデータベースの検索該当レコードまたは、選択レコード（水色強調表示）とリンクするベクターデータを強調表示します。	○	○
	選択ベクターデータ検索（該当データのみ表示）	DbVSearchOnly		アクティブなデータベースの選択されたレコードまたは検索結果の強調表示レコードとリンクするベクターデータのみを表示します。その際、非選択のレコードにリンクするベクターデータは非表示になります。	○	○
	現在のレコードのベクターデータ検索	DbVSearchAt		アクティブなデータベースのカレントレコードとリンクするベクターデータを強調表示します。	○	○
	（前景レイヤー対象）選択ベクターデータ検索	DbVSearch1		アクティブなデータベースの検索該当レコードまたは選択レコード（水色強調表示）とリンクするベクターデータを強調表示します。	○	○
	（前景レイヤー対象）選択ベクターデータ検索（該当データのみ表示）	DbVSearchOnly1		アクティブなデータベースの選択されたレコードまたは検索結果の強調表示レコードとリンクするベクターデータのみを表示します。	○	○
	（前景レイヤー対象）現在のレコードのベクターデータ検索	DbVSearchAt1		アクティブなデータベースのカレントレコードとリンクするベクターデータを強調表示します。	○	○
	（広域ベクターも対象）選択ベクターデータ検索	DbVSearch2		アクティブなデータベースの選択レコード（水色強調表示）とリンクするベクターデータ（広域ベクターに登録されたレイヤーも含む）を強調表示します。	○	○
	（広域ベクターも対象）選択ベクターデータ検索（該当データのみ表示）	DbVSearchOnly2		アクティブなデータベースの選択レコード（水色強調表示）とリンクするベクターデータ（広域ベクターに登録されたレイヤーも含む）の対象ベクターのみを表示します。	○	○
	（広域含む）このレコードのベクター	DbVSearchAt2		アクティブなデータベースのカレントレコードとリンクするベクターデータ（広域ベクターに登録されたレイヤーも含む）を強調表示します。	○	○
	現在のレコードの自動追従ベクターデータ検索	DbVSearchAuto		現在のレコードに該当するベクター要素を検索して、画面の中心位置に表示します。	○	○
	属性ウィンドウ更新	VlinkUpdate		ベクター要素の内部属性ウィンドウを更新します。	○	○
標高	グラデーションカラー	ColorMap		現在設定されているメッシュデータのカラー（グラデーション）の設定を行います。	○	○
	ステップカラー	ColorMap2		現在設定されているメッシュデータのカラー（ステップ）の設定を行います。	○	○
3D	全体表示			3Dビュー上で認識されているデータの全域を表示します。	○	×
	拡大			3Dビュー上で認識されているデータの全域を表示します。	○	×
	縮小			3Dビュー上でデータ表示倍率を小さくします（ウィンドウサイズを変えずに表示領域を大きくします）。	○	×
	再描画			3Dビュー上の再描画を行います。	○	×
	最新状態を反映			ベクター側で変更された状態を3Dビュー側に反映して表示します。	○	×
	3Dムーブバー			3Dムーブバーの表示/非表示を切り替えます。	○	×
	アーク属性照会			指定したアークの属性情報を照会、更新します。	○	×
	ポリゴン属性照会			指定したポリゴンの属性情報を照会、更新します。	○	×
	距離	3DRangeOp		3Dビューウィンドウ上で距離の計測を行います。	○	×
	垂直距離	3DRangeVOp		3Dビューウィンドウ上で垂直距離（高さ）の計測を行います。	○	×
	プロパティ			図上計測の際、表示する項目、表示フォントを設定します。	○	×
GL	開く	Open		OpenGLファイルを開く	△	×

カテゴリ	タイトル2	コマンド	メニューに ない コマンド	内容	拡張PVP	PVP
	設定	GLSetProject		指定したレイヤーのベクター要素と高さ (Z値) 情報から、3Dプロジェクトを作成します。	○	○
	描画パラメーター	GLSetRender		3Dプロジェクトに対する描画パラメーターの詳細設定を行います。	○	○
	システム描画パラメーター	GLSetSystemRender		3Dプロジェクトで使用するシステム描画の設定を行います。	○	○
	環境	GLSetEnv		3Dプロジェクトの環境設定を行います。	○	○
	照明	GLSetLight		3Dプロジェクトに対する照明の詳細設定を行います。	○	○
	背景	GLSetBackground		3Dプロジェクトの背景として、イメージやグラデーションなどを設定する事ができません。	○	○
	TIN描画	GLSetTin		3Dプロジェクトに対してTIN描画の設定を行います。	○	○
	カメラ	GLSetCamera		3Dプロジェクトに対して視体積の設定を行います。	○	○
	全体表示	Fit		データ領域全体を表示します。	○	○
	再描画	GLRepaint		3Dプロジェクトウィンドウの再描画を行います。	○	○
	拡大	ZoomIn		データ表示倍率を拡大します (ウィンドウサイズを変えずに表示領域を縮小)。	○	○
	縮小	ZoomOut		データ表示倍率を縮小します (ウィンドウサイズを変えずに表示領域を拡大)。	○	○
	視点移動	GLMoveEye		目標点を展望する際の視点位置をマウスでコントロールします。	○	○
	目標点移動	GLMoveCenter		目標点の位置をマウスでコントロールします。	○	○
	平行移動	GLMovePara		表示領域の移動を行います。	○	○
	視点距離移動	GLMoveLength		現在の表示領域の中心から視点までの距離の変更を行います。	○	○
	カメラ回転	GLMoveUp		視点位置においてのカメラの回転角度をマウスでコントロールします。	○	○
	アーク属性照会	GLInqArc		指定したアークの属性情報を照会します。	○	○
	ノード属性照会	GLInqNode		指定したノードの属性情報を照会します。	○	○
	ポリゴン属性照会	GLInqPol		指定したポリゴンの属性情報を照会します。	○	○
	ポイント属性照会	GLInqPnt		指定したポイントの属性情報を照会します。	○	○
	アニメーションレイヤー読み込み	GLAnimateRead		アニメーション用レイヤーを3Dプロジェクトに読み込みます。	○	○
	アニメーションレイヤー設定	GLAnimateParam		アニメーション用レイヤーの設定内容を変更できます。	○	○
	アニメーション再生設定	GLAnimateRunPrm		アニメーション用レイヤーの作成時に設定した [シーン番号フィールド] の値から再生範囲を決め、再生している間の時間を指定します。	○	○
	アニメーション再生ダイアログ	GLAnimateRound		[アニメーション操作] ダイアログボックスが表示されます。	○	○
	アニメーション再生	GLAnimateRun		アニメーションデータの再生を行います。	○	○
	アニメーション一時停止	GLAnimatePause		実行中のアニメーションを一時停止します。	○	○
	アニメーション停止	GLAnimateStop		実行中のアニメーションを停止します。	○	○
NAV		ActivateDispMode	○	表示モードの切り替え (格納/取り出し) をします。	○	○
		ActivateLayer	○	現在アクティブになっているウィンドウに登録しているプロジェクトが、管理するレイヤーをアクティブ (前景) にします。	○	○
		ChangeRenderName	○	指定されたレイヤーのベクター要素が参照する描画パラメーター名の変更を行います。	○	○
		ClearMark	○	強調旗立てをクリアします。	○	○
		ClosePal	○	パレットウィンドウを閉じます。	○	○
		DispLayer	○	現在アクティブになっているドキュメントが登録されているプロジェクトのレイヤーに対して、表示/非表示を設定します。	○	○
		DispLayerAll	○	現在アクティブになっているドキュメントが登録されているプロジェクトの全てのレイヤーに対して、表示/非表示を設定します。	○	○
		DispModeSchemaLoad	○	表示制御スキーマファイル (*.xml_dsp) を読み込みます。	○	×
		DispModeSchemaSave	○	表示制御スキーマファイル (*.xml_dsp) を保存します。	○	×
		DoRelation	○	リレーション起動を実行します。	○	○
		EnableShowTip	○	メニュー実行時、クイック属性照会を表示します。	○	○
		FadeIn	○	フェードインモードで描画します。	○	×
		LayerDbDispFlag	○	指定されたレイヤーのベクター要素フィールドの表示チェックOn/Offを変更します。	○	×
		LayerDbRenderKey	○	指定されたレイヤーのベクター要素のフィールドに「主描画」キーチェックを入れます。	○	×
		LayerDispFlag	○	指定されたレイヤーのベクター要素フィールドの「表示設定」内チェックOn/Offを変更します。	○	×
		LayerRenderParamsName	○	「参照する描画パラメーターセット」を設定します。	○	×
		NoSave	○	マップウィンドウを閉じた時の動きを、あらかじめコマンドで設定しておく事ができます。	○	○
		OpenPal	○	[プロジェクトエキスパート] - [描画パラメーター] に登録されている描画パラメーターセットからパレット (凡例) ウィンドウを表示します。	○	○
		PreviewClose	○	印刷プレビューウィンドウを閉じます。	○	○
		RepaintOff	○	全てのベクターウィンドウの再描画を抑制します。	○	○
		RepaintOn	○	全てのベクターウィンドウの再描画抑制を解除し、全ウィンドウを再描画します。	○	○
		SelMarkToDb	○	ベクター要素の選択状態を内部属性データベースに反映します。	○	○
		SelMarkFromDb	○	内部属性データベースの選択状態をベクター要素に反映します。	○	○
		ShowPal	○	パレットウィンドウを表示します。 -hideが指定される場合は非表示にします。	○	○
		SortPal	○	指定されたパレット (凡例) ウィンドウに並び替えの指示 (メッセージIDの送信) して、並び替え処理を実行させます。	△	△
		VideoPlay2	○	[システム] - [GPS] - [GPSログから軌跡ベクター生成] で作成したベクターデータで、OpenCVのライブラリを使用して、(IEブラウザではなく) PC-MAPPINGのモジュールとして、直接的にビデオとGPSログをリンクして表示します。	○	×
		ZoomRel	○	現在の画面の表示縮尺に対して相対的な割合で拡大、縮小を行います。	○	○
NDV		ActivateDb	○	現在アクティブになっているウィンドウに登録しているプロジェクトが、管理するデータベースウィンドウをアクティブにします。	○	○
		BookMarkReset	○	レコードのカレントレコードの選択を解除します。	○	○
		DbSetFieldDisp	○	指定した属性データベースのフィールド以外を全てウィンドウ非表示にします。	○	×
		DispDb	○	現在アクティブになっているドキュメントが登録されているプロジェクトの属性データベースに対して、表示/非表示を設定します。	○	○
		Goto	○	指定したレコード番号へカーソルを移動します。	○	○
		GotoCell	○	指定されたフィールドとレコード番号のセル位置へカーソルを移動します。	○	○
		GotoField	○	レコード内で、指定されたフィールドのセル位置へカーソルを移動します。	○	○
		PrintPreview	○	実際に印刷される状態を、プレビューウィンドウで表示します。	○	○
		SysMenu	○	データベースウィンドウの各種機能を可使用/不可用にします。	○	○
Proc		Proc DispMode curdispmode	○	[プロジェクトエキスパート] - [表示モード] パネルの「登録された表示モード」に登録されている表示モードを指定して、表示を切り替えます。	○	×

カテゴリー	タイトル2	コマンド	メニューに ない コマンド	内容	拡張PVP	PVP
		Proc DispMode	○	レイヤー背景イメージ ( [プロジェクトエキスパート] - [表示モード] パネル: 前景/背景レイヤーの「イメージ」チェックボックス) のON/OFFを切り替えます。	○	×
		Proc DispMode D2Scale	○	2次元スケールバーの表示 (表示位置) /非表示を切り替えます	○	×
		Proc Layer *DispOn/Off	○	指定したレイヤーの表示/非表示を切り替えます。	○	×
		Proc Layer * Rename *	○	レイヤー名を変更します。	○	×
		Proc Layer * SetSetScae *	○	指定したレイヤーの縮尺分母を変更します。	○	×
		Proc Layer * SetKey **	○	指定したレイヤーにキーリストを追加します。	○	×
		Proc Layer * PolRenderKey *	○	指定したレイヤーのポリゴンの描画フィールドを設定します。	○	×
		Proc Layer * PolRenderParamsName *	○	指定したレイヤーのポリゴンの参照する描画パラメーター名を変更します。	○	×
		Proc LayerDb	○	指定したレイヤーのフィールドの「表示」チェックのON/OFFを切り替えます。	○	×
		Proc LayerDb ** Remove *	○	指定したレイヤーのフィールドを削除します。	○	×
		Proc LayerDb ** SetKey **	○	指定したレイヤーのベクター内部属性のキーリスト項目の値を変更します。	○	×
		Proc Mgr Remove *	○	指定したレイヤーを削除します。	○	×
		Proc Mgr RemoveDbFolderEx *	○	指定したデータベースフォルダーを登録解除します。	○	×
		Proc Mgr SetKey **	○	指定した値をプロジェクトのキーリストに登録します。	○	×
		Proc Mgr SetLayerScale *	○	すべてのレイヤーの縮尺分母を指定値に設定します。	○	×
		Proc Mgr RemoveLayerFolderEx *	○	指定したレイヤーフォルダーを登録解除します。	○	×
		Proc Mgr CurLayer *	○	指定したレイヤーを前景 (カレント) レイヤーにします。	○	×
		Proc NEM	○	[プロジェクトエキスパート] - [標準メッシュ] パネル: 指定メッシュの表示を切り替えます。	○	×
		Proc TIN	○	[プロジェクトエキスパート] - [TIN] パネル: 「TINフレームを表示」チェックボックスのON/OFFを切り替えます。	○	×
		Proc Wai * DispOn/Off/Toggle	○	指定した広域イメージのレベルの表示/非表示を切り替えます。	○	×
		Proc Wai * TpOn/Off/Color	○	指定した広域イメージのレベルの表示/非表示を切り替えます。	○	×
		Proc Wai -RemoveEmptyLayer	○	広域イメージで画像ファイルが登録されていない広域イメージレイヤーを削除します。	○	×
		Proc Wai AlphaLevel *	○	指定した広域イメージレベルのアルファブレンドを指定した値に変更します。	○	×
		Proc WMS	○	指定したWMSの表示/非表示を切り替えます。	○	×
		Proc WMTS	○	指定したWMTSの表示/非表示を切り替えます。	○	×
		Proc Wvec	○	指定した広域ベクターロットの表示/非表示を切り替えます。	○	×
		Proc Wvec -RemoveEmptySlot	○	広域ベクターでベクターファイルが登録されていないスロットを削除します。	○	×
共通		AppNoSave	○	PC-MAPPINGを閉じた時の動きを、あらかじめコマンドで設定。	○	○
		AppSysMenu	○	アプリケーションウィンドウの各種機能を使用可・不可にします。	○	○
		ExitForce	○	PC-MAPPINGを終了します。	○	○
		GDIPOset	○	[スタート] - [システム環境設定] - [システム環境設定] ダイアログボックス-「表示と印刷」タブの「拡張グラフィックス」を利用する」をコマンドでON/OFF設定します。	○	×
		InhibitCancel	○	キャンセル処理 (ESCキー) の有効/無効を変更します。	○	○
		MDI_Maximize	○	現在アクティブなウィンドウを最大化します。	○	○
		MonitorOff	○	ディスプレイモニターをOFFにします。	○	○
		MonitorOffMode	○	ステータスバーが表示されるような処理時にモニターのON/OFFを切り替えます。	○	○
		QuickPopup	○	クイックバーのボタンからポップアップクイックバーを表示します。	○	○
		RefreshPWS	○	現在アクティブなプロジェクトに関して、その変更処理があれば、プロジェクトワークスペースに反映します。	○	○
		WriteProfile	○	INIファイルの指定したセクションの内容を変更します。	○	×
その他		ConsumeMsg	○	Waitコマンドと同様	○	○
		DoCmdAck	○	「確認メッセージ (OKかキャンセル)」を出して、OKの場合のみ実行するコマンド文字列 *を実行します。	○	○
		ExcelOpen	○	指定のExcelファイルを開きます。	○	○
		InputBox	○	文字列を入力するダイアログを開いて、ユーザーの入力を即して、その結果を指定する次のコマンドへと引き渡します。	○	×
		KillTrack	○	マウス操作中の処理を中止します。	○	○
		LastCommand	○	直前に使用したコマンドを再実行します。	○	○
		PanoramaGoToFrame	○	地図情報位置からPGRまたはNAIファイルのフレームを検索します。	○	×
		PanoramaInqFrame	○	PC-MAPPINGレイヤーの属性 (PanoramaPostingで転記した「パノラマフレーム」の数値位置) から、 [パノラマビューアー] に、該当表示フレームを表示します。	○	×
		PanoramaMultiRoute	○	PGRまたは、パノラマ形式のNAIファイルが存在するフォルダーを指定して、路線のアーチを一括作成します。	○	×
		PanoramaNAIView	○	パノラマ形式のNAIファイルを指定してパノラマビューアーを起動します。	○	×
		PanoramaPosting	○	パノラマの表示状態を、PC-MAPPINGレイヤーの属性に転記します。	○	×
		PanoramaRoute	○	データの座標情報からルートのパノラマを作成します。	○	×
		PanoramaStreamView	○	PGRファイル/NAIファイル指定して、パノラマビューアーを起動します。	○	×
		PanoramaSync	○	パノラマビューアーが表示された状態で、コマンドを実行すると、パノラマビューアーのプレビューに表示されている位置を、ベクター画面上の該当位置にフラグを立て、中心に表示します。	○	×
		PanoramaViewDisp	○	パノラマビューアーの表示状態を設定します。	○	×
		PdfClose	○	PdfOpenで開いた文書を開いた文書を閉じます。	○	○
		PdfCloseAll	○	開かれている全てのPDF文書を閉じます。	○	○
		PdfExit	○	Adobe Acrobat/Readerを閉じます。	○	○
		PdfGoto	○	PdfOpenで開いた文書を指定ページまでスクロールします。	○	○
		PdfOpen	○	指定のPDFファイル Acrobat/AcrobatReaderで開きます。	○	○
		RelationImageClose	○	リレーションで表示されたイメージウィンドウを無条件に全部閉じます。	○	○
		Wait	○	一定時間次のコマンド処理を実行せず、待ち状態です。	○	○